



琴平町

第5号

平成23年12月議会

議会だより



○一般質問	2	~	5	ページ
○議案説明	6	~	7	ページ
○議会の活動	7			ページ
○委員会報告	8	~	9	ページ
○審議結果	10			ページ
○研修・視察	11			ページ
○視察・編集後記	12			ページ

(県営事業 大宮橋架換工事 平成23年12月7日 開通)

12月議会 一般質問



問 町とタクテックの訴訟に於いて町は瑕疵担保責任を追求しているが、先方は薬剤師会の成分検査時の参考事項として記載している日量¹⁴²トンが湧出量の証明であるとして、成功報酬を受け取ったと言っているが、薬剤師会は検査に行く2、3日前から連続揚湯を行ってくださいと、念を押しているのにも係わらず行っていない。提出されている揚湯試験のデータは下水道流入表と照らし合わせて見ると合致しない。連続揚湯がなされていない湧出量の検査は無効である。第一、薬剤師会は成分検査機関であって湧出量の証明機関ではない。



山神 猛 議員

温泉掘削
訴訟を問う!!

答 現在、係争中の事件に関する取り扱いについては、顧問弁護士と協議をしながら検討していきたい。

その上で、山神議員の主張をお聞きし、今後の訴訟の参考にさせていただく部分があれば、参考にさせていただきたいと考えています。





渡辺 信枝 議員

高齢者肺炎球菌ワクチン 一日人間ドックの実施要求

問 琴平町の死亡率は肺炎が男女ともに高くなっています。香川県内の公費補助状況は6市4町が3千円から全額を、公費負担しており、早速24年度からのワクチン接種に対する「公費助成」の実施を要望する。

答 肺炎球菌ワクチン接種に関しては、任意とされており本町では今まで助成しておりませんでした。

今後、近隣市町の状況を参考にしながら、後期高齢者医療広域連合による助成事業の内容等を考慮に入れ慎重に検討していきたいと考えています。



問 我が町は特定検診の受診率が悪いと聞いているが、何日かに、分けて検診に行くより、一日で終わる人間ドックの助成も考えてはもらえないか。病気にかかってからの治療より、病前からかからないようにする「疾病予防」が重要だと思う。

答 本町では国民健康保険特定健診の検診率が目標に達しておらず、疾病の早期発見早期治療を推進するには人間ドックも有効な手段の一つである。そこで、各種がん検診の希望調査を行う際に、人間ドックの希望調査を併せて行い町民の希望状況を把握したいと考えています。



籾内 伊佐子 議員

子供を取り巻く環境と 子育て支援策等を問う

問 県内の児童虐待相談対応件数が昨年、過去最多にのぼった。本町の児童虐待の現状、相談連携、児童虐待防止についての取り組みを問う。

答 警察、学校、西部子ども相談センター等との連携を行い情報交換を行っています。本年度からは、「琴平町虐待防止等対策地域協議会」を設立し、虐待の早期発見や防止に対応しています。また、近年増加しているネグレクト(育児放棄)に対応するため、保健師による子育て相談等も行っています。

問 親子関係の絆の弱さが指摘されている昨今、絵本の読み聞かせて絆を深めるブックスター

トの導入は県内の市町では7割の自治体で行われている。

答 ブックスタートに関しては、先ほどの虐待防止の観点からも重要で、親子の絆を深めるために大変有効であると認識しています。

問 高齢者の肺炎を予防する肺炎球菌ワクチンが自由診療の対象であり健康保険が適用されない。県内市町のワクチン接種の公費助成は、現在6市3町(まんのう町は期間限定)となっている。肺炎球菌ワクチン接種の公費助成について見解を問う。

答 (肺炎球菌に関しては渡辺議員への答弁と同じです。)



眞鍋 籌男 議員

65歳定年制と

天下りの禁止!!

問 世間一般・最近の雇用状況を考えると、師走の木枯しのように非常に厳しいものがあります。つきましては臨時・嘱託・外部団体に65歳定年制を設けるべきだと私は思う。

もし必要なら、民間から雇用しては！

答 雇用機会を多くの方にも与えるという観点から、一定の年齢で代わっていただくことは有効だと思えます。

一方で高齢者(66歳以上)の社会参加の促進や事業の充実という観点から考えると、豊富な経験や知識・技能のある方を年齢で縛ることは合理的ではありません。今後は、定年延長等の社会状況も考慮して総合的に考えた

いと思えます。

問 天下りの禁止・民間活力の導入について、日本中、どこへ行っても公務員の天下りについては厳しい声があります。国会でも、しかりであり琴平町もこの際、きっぱりと天下りについては廃止すべきです。これまで、町の公金をもらっていた職員が、定年後も町の公金をもらう。一般の人にもチャンスを与えて欲しい。

答 天下りの禁止については、私が就任して以降、退職職員の斡旋をしていないことでも分かるように、町職員の天下りの禁止については賛成です。



安川 稔 議員

小・中学校にエアコンの

早期設置を!!

問 琴平町の小・中学校の耐震補強工事は23年度において、終了したが、エアコンの設置については、今だ具体的な計画は示されていない。県下の他市町において、7市5町が設置、又は工事の計画が予定されておる。

本町の子どもたちが快適な環境の中で学業に励めるためにも早い段階でのエアコンの設置を要望する。

答 安心・安全な教育環境の整備の今後の予定としては、近隣の多くの市町で、すでに設置済み、または計画中のエアコンの設置について、財政の厳しい時期ですが、議会の意見等お聞きし、財政当局と協議しながら検討していかねばならないと

考えています。

問 現在日本の農業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況の中にある。国においては、24年度より「新規就農支援事業」を計画しているが、琴平町においても農業に積極的に取り組んでいる人たちに対して、独自の支援策を示していただきたい。

答 農業の担い手を確保するため、認定農業者制度や法人化を推進しています。

新規就農者支援としては、希望があれば面談の上、中讃農業改良普及センターと協力して県の認定制度への取り組みや農地貸借の斡旋・紹介などの支援・相談活動を実施しています。



今田 勝幸 議員

《来年度予算要求》 子育て・医療・福祉拡充を

問 町は、国の予算審議結果によらず公立・私立の運営補助金継続拡充を求める。

答 運営補助金は、本年度同様に予算措置の準備をしており、県や町村会を通じて現行の継続拡充を求めています。

問 子宮頸がん予防ワクチン等3種接種事業継続と高齢者肺炎球菌ワクチンの公費接種を町と国に求め。議員提案権による意見書を提出すると表明。

答 子宮頸がん予防ワクチン等3種ワクチンに関しても継続する必要があると判断し、町村会を通して国へ要望してまいります。(肺炎球菌ワクチンについては渡辺議員への答弁と同じ)

問 11月19日の防災訓練参加者の声から、参加自治会の受付アンケート集約結果を質問し、町内一斉防災放送設備設置を提案。

答 災害時には、情報伝達・収集が重要であることから、防災行政無線等の調査・検討をしたいと考えています。

問 南相馬市への物資届けと栲原町訪問の体験から、給食センターに食品放射能汚染測定器設置と太陽光発電パネル設置助成を来年度実施を要求。

答 太陽光発電への助成制度は、財源の目途がついた時点で考えたいと思います。



片岡 英樹 議員

大災害発生に 町は対応できるのか？

問 南海大地震や豪雨による洪水などの大災害が発生した時、琴平町行政として地域の災害情報収集方法・その処理判断体制・避難勧告などの伝達方法について、対策・対応はできるのか？行政防災無線などの整備が必要でないか？また、もし役場庁舎が壊滅した場合の対応などを想定しているか？

答 地域防災計画に基づき災害対策本部を設置し、気象台や県から情報を収集すると同時に調査担当班により被害状況を把握し、適切な対応に努めます。情報伝達については、本部内の機能を強化するとともに防災行政無線の導入も検討したいと考えています。役場が倒壊した場合は、本部機能を水道課(五條浄水場)やヴィスポことひらに移すことを考えています。

問 国民健康保険税を引き下げるために、医療費の削減対策として、保健師による個別保健指導の充実が効果があると考えられる。

答 保健師による健康指導及び疾病予防対策は重要かつ緊急の課題であると認識しており、管理栄養士も含め、指導・相談・食育等の支援体制を構築していきたい。

議案クローズアップ

11月臨時会及び12月定例会の議案について主なものを説明します。

平成23年第5回 11月臨時会

議案第1号

平成23年琴平町一般会計
補正予算(第4号)

町営住宅火災跡地改修工事費500万円を増額補正するもので、財源は火災保険料による。

これは、2月に平松第一住宅が放火により火災が発生し、4戸ある中で1戸を撤去し、後の3戸の修繕するための費用です。



第5回11月臨時会補正予算 (金額は万円未満を切り捨てて表示)

会計名	増額	総額
一般会計	500万円	42億369万円

平成23年第6回 11月臨時会

議案第1号

職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

香川県人事委員会勧告の趣旨を踏まえ、給料表の改定と現給保障に係る給料の切り替えに伴う経過措置である。

この改正により、月給は12月から平均0・23%引き下げ、4月～11月分は冬のボーナスで減額調整などを行う。

平成23年12月定例会

議案第1号

平成23年琴平町一般会計
補正予算(第5号)

主な歳入として

- 子ども手当の制度改正に伴う地方特例交付金の増額
- 当初計画していた横瀬地区の

防火水槽を消火栓の新設により対応することになったため、消防事業債の発行額を減額

資源ゴミの回収に伴う売却費の増額

4月以降に3保育所で19名の児童が入所し、児童保護者負担金として、民生費負担金を増額

産休等代替職員の職員費補助金として県費補助金の増額

住宅費補助金として、苗田児童館の耐震診断補助金を増額

主な歳出として

人事院勧告による人件費の減額

柳谷墓地、塚狭墓地の地盤整備の修繕費の増額

満濃池耐震診断負担金の増額

社会福祉センターのガス配管修繕のため管理委託料の増額

苗田児童館、社会福祉センター、幼稚園、保育所等の耐震診断業務委託料の増額

文化会館のエレベーター修繕料として公民館費の増額

委員からの質問

問 資源ゴミなどはどういう回収をしているのか。

答 分別についても、来年度から蛍光灯・乾電池なども考えていきたい。



問 香川県の満濃池耐震診断事業(3千万円)の負担金琴平町68万3千円(の負担割合は?)

答 国が50%、県が25%、市町が25%2市3町

問 こんぴら歌舞伎大芝居の入場料について当初予算はどのように算定しているのか。

答 16日間公演で、満席の場合は2億9千8百万円で、当初予算としては、約96%の売り上げを見込んでいる。

問

保育所の途中入所者が19名位いるがどの様な対応をしているか。



答 できるだけ待機児童にならないように保育士を途中採用

し、対応している。

問 文化会館のエレベーター修繕費39万の内訳は？維持管理費で対応できないのか。

答 定期点検はしているが、63年建設以来、部品交換をしていなく、以前から、部品交換の指摘があり、交換する為に修理をするもので、今回緊急にするもの。



議案第00号
琴平町税条例の一部を改正する条例

前納報奨金制度は、税の納税意識を高める為に、制度化されたものであるが、近年、他市町の状態を見ると廃止の傾向にある。過去に住民税については前納報奨金制度を廃止してきたところであるが、本町では、報奨金制度の必要性を重んじて、固

定資産税の前納報奨金の交付率の引き下げを行う。

前納報奨金とは
通常は1年分を4期に分けて納付することになっていて、固定資産税を1期目に1年分を前納した場合に、利息分として割り引かれるもの

12月定例会補正予算 (金額は万円未満を切り捨てて表示)*除く			
会計名	増額	総額	
一般会計	667万円	42億1,036万円	
特別会計	国民健康保険	4,740万円	14億2,599万円
	下水道	7,273万円	4億1,312万円
	駐車場	*7千円	1,814万円
	介護保険	2,028万円	1億751万円
	後期高齢者医療	42万円	1億4,999万円
水道事業会計	収益的支出	7万円	3億98万円
	資本的収入	1,070万円	1,596万円
	資本的支出	2,009万円	1億6,944万円

ワクチンで防げる病気のワクチン定期接種を早期に国の制度確立を求める意見書

- 提出者 山 神 猛
賛同者 眞 鍋 籌 男
山 下 康 二
内 伊 佐 子
渡 辺 信 枝

本町は、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを国の「子宮頸がん予防ワクチン等の3種ワクチン接種緊急促進事業」によって実施しています。

しかし、本町でも全ての対象者にゆき渡ったと言えない状況であり、町民の健康増進に大きく寄与し、医療費の増大を抑えるためにも事業の継続を求めるものであります。

また、事業継続のため、本町議会として、国の緊急促進事業（時限措置）となっているこの事業継続を含め、ワクチンで防げる病気のワクチン公費定期接種を早期に国の制度として確立を求めるものです。

全会一致で可決

関係機関に意見書送付

議会の活動

(9月定例会以降) 12月定例会

9月28日	議会広報編集特別委員会
10月6日	議会広報編集特別委員会
7日	議会改革推進特別委員会
13日	議会広報編集特別委員会
21日	全員協議会
27日	香川県議会議員研修会 (香川県自治会館)
11月4日	議会運営委員会
	全員協議会
7日	視察研修(静岡県三島市議会様来庁)
14日	平成23年(第5回)11月臨時議会 議会運営委員会
	総産経を主査とする連合審査会 議会運営委員会
21日	人権・同和对策特別委員会 視察研修(中讃地域にある関連施設)
22日	議会改革推進特別委員会
24日	総務産業経済常任委員会
28日	平成23年(第6回)11月臨時議会 議会運営委員会
	全員協議会
	教育厚生常任委員会 総務産業経済常任委員会
12月2日	議会運営委員会
	全員協議会
6日	平成23年12月定例会(第1日)
7日	総務産業経済常任委員会
8日	教育厚生常任委員会
14日	平成23年12月定例会(一般質問)
15日	平成23年12月定例会(最終日) 議会運営委員会
	全員協議会
	教育厚生常任委員会 総務産業経済常任委員会 議会広報編集特別委員会

委員会報告

各常任・特別委員会等で所管課からの報告を受け審議した、主な質疑応答・意見などを紹介します。

総務産業経済常任委員会

(閉会中の付託案件) 行財政改革・産業振興・建設・上下水道温泉事業に関する調査(調査対象所管課) 総務課 税務課・観光商工課・農政課 建設下水道課・出納室 水道課

総務課 来年度予算編成方針について、人件費を除き各課、内容等を踏まえた上で原則として1割の経費金額にして約1億6千万円の削減を検討している。

意見 慎重にやって欲しい。

農政課 7/3、農業委員会

総務課 11/3、町総合センターにおいて、町政報告会を実施し、38名の参加があった。



問より多く参加いただいただけ創意工夫する事、また終わった後の反省など総括をしているのか。

答 出席者のアンケート調査の結果を参考にしながら、協議する。

意見 観光バス乗降場の、

クレーム及び

問題点として

バスの冷暖

房・エンジンの

掛けっぱなしは止めるよ

うに。



水道課 水道料金の滞納整理は給水停止執行通知を71件

発行しており、納入期限を12/2、未納の場合は12日

以降随時給水停止を行って

いく。

問 水道料金の大口の滞納者

についてはどうするのか。

答 誓約書や訪問督促、電話

督促などをしていく。



教育厚生常任委員会

(閉会中の付託案件) 教育・福祉・保健・衛生に関する調査(調査対象所管課) 住民サービス課・福祉課・健康推進課 人権同和課・生涯教育課

住民サービス課 11/13、秋季金倉川一斉クリーン作戦へ、約40名の参加がありました。

福祉課 11/16、戦没者追悼式を開催、約18名の参列者があり、多数の献花が行われた。

生涯教育課 11/18、まちづくり科研究発表会開催、町

内各小・中学校で授業公開・活動報告をした。

問 今年度で終わるまちづくり科

については来年度も何かの形で続けてほしい。

答 まちづくり科は21年度

認可が全国12校で、今後

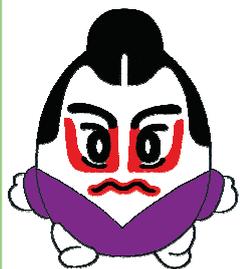
は、総合学習の中で取り組んでいく。



生涯教育課 旧金毘羅大芝居の紹介映像のDVD制作について、案内ビデオを新しく制作するため、国の補助事業で制作、ナビゲーターとして元NHKのアナウンサー松平定知氏に金毘羅大芝居の魅力をPRしてもらう。完成予定は2月末。

問 DVD制作の活用や製作費について。

答 20分程度のDVDで芝居小屋の中でPRするもの。製作費は約410万。(全額、国の補助)



問 子宮頸がんの対象年齢の方のワクチン接種は全員が受けられたのか。また来年も継続していくのか。



答 財政的な負担が生じるので財政当局と相談して検討していきたい。

問 給食センターに放射能の品質検査が1台いるのではないか。

答 文科省から放射線等に関するアンケート調査表がきたので、今後その調査結果を踏まえ、対応していきたい。



人権・同和対策 特別委員会

人権同和課 11/14・15に豊明文化祭が開催され、健康相談参加者が35名、苗田児童館来館者が679名ありました。

町内幼保、小中学校から人権問題の啓発を主な目的に作品が展示され、併せて近隣の高校、一般の方々からの作品が多く出展されていました。

問 琴平中学校・人権劇の経緯について

答 琴平中学校の独自の先進的な取り組みとして毎年、生徒自身の人権教育として、取り組んでいる。保護者等への啓発としても非常に評価の高い取り組みであり、また長年実施することに伴い小学生にも人権意識が高まってきている。



議会改革推進特別委員会

議会の常任委員会等の一般傍聴について、原則公開とすることを確認しました。

一般質問について、町長等による反問権の付与について確認しました。

一般質問の一問一答方式の方法について確認しました。

議員視察研修について、意見交換をしました。

琴平町の町政報告会とのまんのう町議会報告会について意見交換をしました。

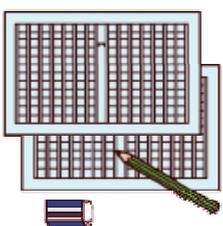
議会広報編集特別委員会

議会広報第4号の編集は、9月定例会最終日の9/16を第1回として編集スケジュールに沿って、発行まで4度の作業を委員全員が出席のもと行いました。

掲載内容は、定例会の決算審議内容、一般質問、委員会報告、視察報告が主な内容です。

広報編集特別委員会の基本的な姿勢として、町民目線でわかりやすく、読みやすい事に重きをおき編集に心がけました。その為、文章はわかりやすく、誤解を与えないように注意をはらったつもりです。

今後も、住民の皆様への説明責任の一環として広報の発行を行なってまいります。



【議会改革推進委員会】

政務調査費について調査研究しました。

平成23年（第5回）11月臨時会の議案及び審議結果一覧

議案名等	議員名	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	議決月日
		賛成	反対	議決結果	臼杵善弘	安川稔	渡辺信枝	大西久夫	藪内伊佐子	片岡英樹	今田勝幸	山下康二	眞鍋壽男	
議案第1号	平成23年度琴平町一般会計補正予算（第4号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	11/14

平成23年（第6回）11月臨時会の議案及び審議結果一覧

議案第1号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	8	1	可	—	○	○	○	○	○	×	○	○	11/25
-------	------------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-------

平成23年12月定例会の議案及び審議結果一覧

議案第1号	平成23年度琴平町一般会計補正予算（第5号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
議案第2号	平成23年度琴平町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第3号	平成23年度琴平町下水道特別会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第4号	平成23年度琴平町駐車場特別会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第5号	平成23年度琴平町介護保険特別会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第6号	平成23年度琴平町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第7号	平成23年度琴平町水道事業会計補正予算（第2号）	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第8号	琴平町税条例の一部を改正する条例	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第9号	中讃広域行政事務組合規約の一部変更について	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	12/6
議案第10号	香川縣市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び香川縣市町総合事務組合規約	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第11号	香川縣市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分について	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
陳情第1号	じん肺患者の救済とトンネルじん肺根絶を求める陳情書	3	6	不	—	×	×	×	○	×	○	×	×	〃
発議第1号	ワクチンで防げる病気のワクチン定期接種を早期に国の制度確立を求める意見書	9	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	12/15
発議第2号	町内中高年者の公平な雇用拡大を求める意見書	—	—	継	—	—	—	—	—	—	—	—	—	継続

※可…可決 不…不採択 継…継続 ○…賛成 ×…反対

※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。（議長 議席番号1番）

お詫びと訂正

第4号の8ページに記載の採決結果一覧に一部誤りがありました。正しくは下記のとおりです。お詫びして訂正します。

議案名等	議員名	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	議決月日
		賛成	反対	議決結果	臼杵善弘	安川稔	渡辺信枝	大西久夫	藪内伊佐子	片岡英樹	今田勝幸	山下康二	眞鍋壽男	
議案第1号	琴平町監査委員（議会選出）の選任について	8	0	同	—	○	○	—	○	○	○	○	○	〃



中讃地域のゴミ処理関連施設 視察研修

11月21日に教育厚生常任委員会として中讃地域にあるゴミ等関連施設を視察研修に行きました。ゴミの最終処分場「エコランド林ヶ谷」（まんのう町）可燃ゴミ焼却施設「仲善クリーンセンター」（琴平町）リサイクル施設「未来（みら）クルパーク」（善通寺市）し尿処理施設「瀬戸グリーンセンター」（多度津町）。それぞれ、私たちの市民が生活



【エコランド林ヶ谷】

するの中で重要な施設ばかりで、気が付かないところでお世話になっている施設ばかりです。使用している市町で負担をして建設、運営をしております。特に設置している地域の方々のご理解とご協力があって運営されていますが、それぞれ耐用年数や地元との協力協定により、いつまでも使えるという施設ではありません。こうしたことも念頭に、ゴミなどの減量化の努力とともに、これからの議会審議にも活かしてまいります。

香川県町議会議員研修会(香川県自治会館)

10月23日高松市の香川県自治会館において香川県町村議会議長会主催の香川県町議会議員研修会に全議員が参加して行われました。一部には帝京大学経済学部地域経済学科教授の内貴滋先生の「個性と活力の地域づくり」についてご講演があり、先生は大学教授と言うよりも昭和56年に大分県の「一村一品運動」を全国で名を馳せた、当時の地域振興課長で、その実践者であります。豊富な経験に基づく「ふるさとの創生」のお話をされました。

「地域の産物に付加価値を考え常に挑戦する気持ちを持ち失敗を恐れず、技術の練磨に努力をしなければ」と、力強くお話されました。二部の講師として読売新聞東京本社編集委員の青山彰久先生の「地方自治のみらい」についてのご講演がありました。暮らしを守る為、又地域のなりわいを守る為に今、何をしなければならないのか、色々な事例をあげ、含蓄のあるお話をいただきました。特に印象に残っているものは、「町においてもし時間が余っている職員がいたら役所にいないで、住民の元へ出向き、住民の要望を聞かなければいけない」とのことでした。この講演をこれからの町の活性化に向け生かして行きたいと思いました。



【香川県自治会館にて】

ヴィスポと総合型地域スポーツクラブ視察 (静岡県三島市議会来庁)



【ヴィスポことひら】

11月7日、静岡県三島市議会の議員3名がヴィスポことひらと(財)こんびらスポーツ財団を視察研修するため来庁されました。

当日、生涯教育課長と財団事務局長が説明などを行い、教育厚生常任委員会委員らが意見交換するなど交流しました。



【三島市議会との意見交換会】



自治功労賞

地方自治の振興に功労があったとして、四国町村議会議長会表彰に眞鍋 善男議員が表彰されました。
(在職19年以上)



会議の傍聴について
議会の本会議・各委員会
は、原則として傍聴できま
す。次回、3月定例会は、3
月上旬からの予定です。詳し
い日程は、決定したい町ホー
ムページでお知らせしてい
ますので、ご確認いただい
て、議会事務局にお問い合わせ
せのうえお越しください。
(傍聴希望者が多数の場
合は、抽選となりますの
で「J」承トヤス。)

編集後記

昨年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災は、私たち日本人に地震と津波、原発の恐ろしさを認識させ、あらためて考えるきっかけをつくりました。

12月議会は、7人の議員が一般質問を執行部に対して行いました。この度の議会で、本町においても防災対策が着実に進んでいることがわかりました。

本年も、住民の皆様への付託に答えられる1年でありたいと思っておりますので、御指導、ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

(數内 記)



議会広報編集特別委員

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 數内 伊佐子 |
| 副委員長 | 波辺 信枝 |
| 委員 | 眞鍋 善男 |
| | 今田 勝幸 |
| | 片岡 英樹 |